

## インプットとアウトプット

夏休みは、たくさんの本を読み、いろいろな人と話をし、多くの場所を訪れて、心の財産を増やしてほしいと言いました。どうでしょう？ 夏休みは充実したものとなったのでしょうか？

皆さんは「インプット」「アウトプット」という言葉を耳にしたことがあると思います。

「インプット」は「入力」のことです。「自分が成果や結果を残すために必要な情報・知識・経験を得ること」です。アウトプットは「出力」のことです。つまり、自分の得た「情報・知識・経験をもとに何かを表現すること」です。ある企業を興した人が「人はインプットしたものしかアウトプットできない。」という言葉を残したように、ビジネスの世界でよく使われますが、もっと広く、生活全般で考えられる言葉です。

先ほど言った、いろいろな本や人や場所との出会いは、インプットです。特別なことでなくても、暑い中、部活動に打ち込んだことも、希望の進路を目指して受験モードに突入して猛勉強を始めたことも、すべて、皆さんにとってインプットです。今、皆さんが力を合わせて取り組んでいる文化祭は、発表というアウトプットを目指すものですが、取組のすべての過程は大きなインプットとなるはずです。「心の財産」と言ったのは、このインプットのことです。

私の夏休みのインプットを一つ紹介します。奈良の東大寺戒壇院の四天王像を見てきました。実は、もう何回も見に行っています。奈良の風景や仏像を主にモチーフとして多くの作品を残した入江泰吉さんという写真家が、戦後最初に仏像の写真を撮り始めたのが、この四天王像でした。中でも、広目天像でした。そのとき、入江さんは眼光鋭い広目天像に心の奥底を見透かされているように感じたそうです。日本史の図表にも載っています。

私も、あらためて対峙したとき「今のお前の生き方はそれでよいのか。」といわれたような気がしました。

インプットは、夏休みだけのものではありません。日々の生活の中にその材料はあります。皆さんには、これから少し意識をしてほしいと思います。何かを選ぶ機会があったら、よりインプットできる方を選んでほしいと思います。いろんな人と話をする機会があったら、いつでも話のできる人と話すより、その場でしか話のできない人と話をしてほしい。自由になる時間が少しまとまってあったら、ゲームなどの受動的な刺激を求めるより、本を読んだり、美術館へ行ったり、行ったことのないお寺や神社を訪れてみたりしてほしいと思います。インプットの豊かさはアウトプットの豊かさにつながります。

私の今の立場は、このようなあいさつも含め、アウトプットが大変多い立場です。本を読んだり、研修会に参加したり、いろんな場所を訪れたり、いろいろとインプットしようとしています。おしなべて、人生の今までのインプットの積み重ねが試さていると思います。先生方も同じ

ような思いをされていると思います。

皆さん高校生は、高校の3年間だけでもインプットとアウトプットが繰り返されますが、長い人生全体から見れば、若い間はインプットの時です。将来、大人になってから、その成果としてアウトプットする機会が必ずあります。感性豊かな若い皆さんの、新しいものを吸収する力は大変大きなものがあり、それは将来の糧になります。人間の幅を広げ、心の財産を増やし続けてください。

(平成30年8月 2学期始業式の式辞から)